【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【公開番号】特開2004-173282(P2004-173282A)
【公開日】平成16年6月17日(2004.6.17)
【年通号数】公開・登録公報2004-023
【出願番号】特願2003-389978(P2003-389978)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｑ　7/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｒ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月12日(2006.10.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
通信事業者のネットワークを介して無線装置と通信するために構成されている受け側のコンピューティングシステムにおいて、前記無線装置を認証するための方法であって、
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第１のデータトランスポート機構を介して前記無線装置からのサービスのリクエストを受け取る行為と、
前記サービスの前記リクエストから電話番号を読み取る行為と、
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記無線装置への前記リクエストに対する応答を発送する行為であって、前記リクエストに対する応答がセキュリティ鍵を含み、前記第２のデータトランスポート機構は前記電話番号を使って前記無線装置にアドレスする行為と、
前記リクエストを送信し、応答を受信したことを証明する前記無線装置からの通信が、少なくとも前記セキュリティ鍵から導出されたデータを含み、前記通信を受信する行為と、
を有することを特徴とする方法。
【請求項２】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記無線装置への前記リクエストに対する応答を発送する前記行為は、
ＳＭＳ（Ｓｈｏｒｔ－ｔｅｘｔ　Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ　Ｓｅｒｖｉｃｅ；ショートテキストメッセージサービス）を使用して前記応答を発送する行為
を備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記無線装置への前記リクエストに対する応答を発送する前記行為は、
ＵＳＳＤ（Ｕｎｓｔｒｕｃｔｕｒｅｄ　Ｓｕｐｐｌｅｍｅｎｔａｒｙ　Ｓｅｒｖｉｃｅ　Ｄａｔａ）を使用して前記応答を発送する行為
を備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記無線装置への前記リクエストに対する応答を発送する前記行為は、

ＭＭＳ（Ｍｕｌｔｉｍｅｄｉａ　Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ　Ｓｅｒｖｉｃｅ；マルチメディアメッセージングサービス）を使用して前記応答を発送する行為
を備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項５】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第１のデータトランスポート機構を介して前記無線装置からのサービスのリクエストを受け取る前記行為は、
ＩＰ（Ｉｎｔｅｒｎｅｔ　Ｐｒｏｔｏｃｏｌ；インターネットプロトコル）を使用してサービスの前記リクエストを受け取る行為
を備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記無線装置への前記リクエストに対する応答を発送する前記行為は、
ＳＭＳ（Ｓｈｏｒｔ－ｔｅｘｔ　Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ　Ｓｅｒｖｉｃｅ；ショートテキストメッセージサービス）を使用して前記応答を発送する行為
を備えることを特徴とする請求項５に記載の方法。
【請求項７】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記無線装置への前記リクエストに対する応答を発送する前記行為は、
ＵＳＳＤ（Ｕｎｓｔｒｕｃｔｕｒｅｄ　Ｓｕｐｐｌｅｍｅｎｔａｒｙ　Ｓｅｒｖｉｃｅ　Ｄａｔａ）を使用して前記応答を発送する行為
を備えることを特徴とする請求項５に記載の方法。
【請求項８】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記無線装置への前記リクエストに対する応答を発送する前記行為は、
ＭＭＳ（Ｍｕｌｔｉｍｅｄｉａ　Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ　Ｓｅｒｖｉｃｅ；マルチメディアメッセージングサービス）を使用して前記応答を発送する行為
を備えることを特徴とする請求項５に記載の方法。
【請求項９】
通信事業者のネットワークを介して無線装置と通信するために構成されている受け側のコンピューティングシステムにおける使用のためのコンピュータプログラム製品であって、
前記無線装置を認証するための方法を実施するためのコンピュータプログラム製品は、
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第１のデータトランスポート機構を介して前記無線装置からのサービスのリクエストの受領を検出するためのコンピュータ実行可能命令と、
サービスの前記リクエストから電話番号を読み取るためのコンピュータ実行可能命令と、
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記無線装置へ前記リクエストに対する応答を発送させ、前記リクエストに対する応答がセキュリティ鍵を含み、前記第２のデータトランスポート機構は前記電話番号を使って前記無線装置にアドレスする、コンピュータ実行可能命令と、
前記無線装置が、前記リクエスト及び受信した応答の両方を送ったことを証明する前記無線装置からの通信を受信し、前記通信が少なくとも前記セキュリティ鍵から導出されたデータを含む、コンピュータ実行可能命令と、を備えた、
１つまたは複数のコンピュータ可読媒体を有することを特徴とするコンピュータプログラム製品。
【請求項１０】
前記１つまたは複数のコンピュータ可読媒体は物理的な記憶媒体であることを特徴とする請求項９に記載のコンピュータプログラム製品。
【請求項１１】
通信事業者のネットワークを介して受け側のコンピューティングシステムと通信するため

に構成されている無線装置において、前記無線装置が前記受け側のコンピューティングシステムに対するそれ自体の認証をサポートするための方法であって、
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第１のデータトランスポート機構を介して前記受け側のコンピューティングシステムへのサービスのリクエストを発送する行為であって、サービスの前記リクエストは前記無線装置の電話番号を含む行為と、
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記リクエストに対する応答を受け取る行為であって、前記リクエストに対する応答がセキュリティ鍵を含み、前記第２のデータトランスポート機構は前記電話番号を使って前記無線装置にアドレスする行為と、
前記無線装置が前記リクエストを送り、かつ前記応答を受け取ったことを証する前記受け側のコンピューティングシステムへの通信を発送する行為であって、前記通信が少なくとも前記セキュリティ鍵から導出されたデータを含む行為と、
を備えたことを特徴とする方法。
【請求項１２】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記リクエストに対する応答を受け取る前記行為は、
ＳＭＳ（Ｓｈｏｒｔ－ｔｅｘｔ Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ Ｓｅｒｖｉｃｅ；ショートテキストメッセージサービス）を使用して前記応答を受け取る行為
を備えることを特徴とする請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記リクエストに対する応答を受け取る前記行為は、
ＵＳＳＤ（Ｕｎｓｔｒｕｃｔｕｒｅｄ Ｓｕｐｐｌｅｍｅｎｔａｒｙ Ｓｅｒｖｉｃｅ Ｄａｔａ）を使用して前記応答を受け取る行為
を備えることを特徴とする請求項１１に記載の方法。
【請求項１４】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記リクエストに対する応答を受け取る前記行為は、
ＭＭＳ（Ｍｕｌｔｉｍｅｄｉａ Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ Ｓｅｒｖｉｃｅ；マルチメディアメッセージングサービス）を使用して前記応答を受け取る行為
を備えることを特徴とする請求項１１に記載の方法。
【請求項１５】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第１のデータトランスポート機構を介して前記受け側のコンピューティングシステムへのサービスのリクエストを発送する前記行為は、
ＩＰ（Ｉｎｔｅｒｎｅｔ Ｐｒｏｔｏｃｏｌ；インターネットプロトコル）を使用してサービスの前記リクエストを発送する行為
を備えることを特徴とする請求項１１に記載の方法。
【請求項１６】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記リクエストに対する応答を受け取る前記行為は、
ＳＭＳ（Ｓｈｏｒｔ－ｔｅｘｔ Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ Ｓｅｒｖｉｃｅ；ショートテキストメッセージサービス）を使用して前記応答を受け取る行為
を備えることを特徴とする請求項１５に記載の方法。
【請求項１７】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記リクエストに対する応答を受け取る前記行為は、
ＵＳＳＤ（Ｕｎｓｔｒｕｃｔｕｒｅｄ Ｓｕｐｐｌｅｍｅｎｔａｒｙ Ｓｅｒｖｉｃｅ Ｄａｔａ）を使用して前記応答を受け取る行為
を備えることを特徴とする請求項１５に記載の方法。

【請求項１８】
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記リクエストに対する応答を受け取る前記行為は、
ＭＭＳ（Ｍｕｌｔｉｍｅｄｉａ　Ｍｅｓｓａｇｉｎｇ　Ｓｅｒｖｉｃｅ；マルチメディアメッセージングサービス）を使用して前記応答を受け取る行為
を備えることを特徴とする請求項１５に記載の方法。
【請求項１９】
通信事業者のネットワークを介して受け側のコンピューティングシステムと通信するために構成されている無線装置における使用のためのコンピュータプログラム製品であって、前記無線装置が前記受け側のコンピューティングシステムに対してそれ自体の認証をサポートするための方法を実施するための前記コンピュータプログラム製品は、
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第１のデータトランスポート機構を介して前記受け側のコンピューティングシステムへのサービスのリクエストを発送させるためのコンピュータ実行可能命令であって、サービスの前記リクエストは前記無線装置の電話番号を含むコンピュータ実行可能命令と、
前記通信事業者のネットワークを介して利用可能な第２のデータトランスポート機構を介して前記リクエストに対する応答の受領を検出するためのコンピュータ実行可能命令であって、前記リクエストに対する応答がセキュリティ鍵を含み、前記第２のデータトランスポート機構は前記電話番号を使って前記無線装置にアドレスするコンピュータ実行可能命令と、
前記受け側のコンピューティングシステムに対して通信を発送させるためのコンピュータ実行可能命令であって、前記通信は前記無線装置が前記リクエストを送り、かつ前記応答を受け取ったことを証し、前記通信が少なくとも前記セキュリティ鍵から導出されたデータを含むコンピュータ実行可能命令と
を有する１つまたは複数のコンピュータ可読媒体を備えていることを特徴とするコンピュータプログラム製品。
【請求項２０】
前記１つまたは複数のコンピュータ可読媒体は物理的な記憶媒体であることを特徴とする請求項１９に記載のコンピュータプログラム製品。